

[第 34 回定時株主総会 主な質疑応答 (要旨)]

- Q1. 円谷プロダクションの IP をパチンコ・パチスロ事業に展開していると思うが、その状況や今後の見通しについて伺いたい。
- A1. 同社の「ウルトラマン」IP を用いたパチンコ・パチスロは、当社提携メーカーである京楽産業.グループのセカンドブランド「オッケー。」から多くの遊技機がリリースされている。今後の展開については、既存の IP は勿論のこと、新たな作品を活用した遊技機企画の検討も随時行っている。当社としては、円谷プロダクションのブランド力をさらに高め、当社グループの収益を最大化できるような商品ラインアップを提携メーカーと共に開発していきたいと考えている。
- Q2. パチンコ『新世紀エヴァンゲリオン ～未来への咆哮～』が、ホールで稼働好調とのことだが、パチンコ・パチスロ事業における「エヴァンゲリオン」シリーズの今後の展開について伺いたい。
- A2. 「エヴァンゲリオン」シリーズについては、2004 年の『CR 新世紀エヴァンゲリオン』から始まり、現在に至るまでパチンコ・パチスロ合わせて 30 機種を超え、累計販売台数 250 万台以上を記録する等、当社を代表するヒット機種といえる IP である。さらに、昨年 12 月に販売したパチンコ『新世紀エヴァンゲリオン ～未来への咆哮～』は、全国のホールに導入されて以降、非常に高い稼働で推移し続けていることから、追加受注もいただく等好評を博している。一方で、顕在化する遊技機の部材不足により、全てのホールのご希望に応えることが困難であることから、中古機市場では、定価の 5～6 倍の値段が付く状況となっている。当社としては、部材の問題がクリアされれば全てのホールのご希望に応えたいと思うが、ホールへの安定的な商品供給も考慮して、限りある資源を有効に活用したいと考えている。今後も『新世紀エヴァンゲリオン ～未来への咆哮～』以上の商品力を有したシリーズ最新機種を順次企画し、準備しているので、ご期待いただきたい。
- Q3. 第 3 号議案「定款一部変更の件」に記載されている「株主総会資料の電子提供制度導入」について、株主にとってはデメリットと考えるが、貴社の考えを伺いたい。
- A3. 同議案は株主総会資料等の電子提供制度導入に備えるため、株主総会参考書類等の情報について電子提供措置をとる旨を定めた条文の新設を行うものである。電子提供制度の導入については、会社法の改正に伴い、上場企業として対応すべきものである点をご理解いただきたい。なお、効力発生日以降も、所定の手続きを行うことで、従来通りに書面で通知することが可能である。当社では、こうした要望があれば、ご対応させていただく。

- Q4. これまではオーナーシップによって、グループの改革や成長を図ってきたと思うが、持株会社体制への移行に伴い、さらなる成長に期待する一方で、取締役が多く増員されたことでグループ全体の方向性が揺らいでしまうのではないかと心配している。
- A4. 「円谷フィールズホールディングス」として、グループ全体のさらなる企業価値向上を図っていくためには、豊富な知見を有するエキスパートの存在が不可欠だと考えている。そのために、円谷プロダクションやデジタル・フロンティアの取締役をはじめ、当社が必要とする専門知識を有した社外取締役にもご協力をいただきながら、適切な会社運営を行いたいと考えている。

※本株主総会の議案に関するご質問およびご意見・ご要望等のみ抜粋しております。